

港区立小中一貫教育校白金の丘学園白金の丘小学校
令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○内容や事柄を正確に理解する力 ○内容や事柄を適切に表現する力 	<p>本校における 全国学力・学習状況調査 平均正答率 76%</p> <p>(1) 言語理解 漢字の記述について無回答が目立つ。 (2) 話すこと／聞くこと 相手の発言の意図を正確に捉えることが苦手である。 (3) 書くこと／読むこと 複数の資料を基にして、内容を整理したり、中心を捉えたりして書くことが難しい。記述では、意見と根拠を分けて述べることについて、正答率は全国平均と比較して良い一方で、無回答率が高い。 (4) 学習状況調査 「読書が好きではない」児童の割合が高く、本を活用すること、活字を読むことに消極的である。</p>	<p>(1) 言語理解 漢字の反復学習、熟語や例文作りなどを継続的に取り組み、知識の習得を図る。</p> <p>(2) 話すこと/聞くこと ペアやグループでの話し合い活動を計画的に行い、話の中心を捉えること、自分の考えと比較すること、相手の意図を考えること等を意識して聞くことを身に付ける。話すときは、要点を簡潔に話すことを意識させる。</p> <p>(3) 書くこと／読むこと 資料を根拠にして要点や考えをまとめる学習に、国語の学びを活用して取り組むなど、教科横断的な学びを展開する。低学年から理由を付して自分の考えを書くこと、中学年からあらすじ文を書く、要約するなどの書く活動を日常的に学習に取り入れる。</p> <p>(4) 学習状況調査 読書時間の設定、アニメーションやブックトークの実施、学校図書館を活用した調べ学習など、本に親しむ活動を計画的に配置するとともに、学習に関連した図書や、教科書で取り上げられる作者の関連作品を紹介するなど、学習と学校図書館を結び付ける取り組みを充実させる。</p>

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○地図帳や各種の資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付ける。 ○社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて考えたことを表現する力を養う。 	<p>(1) 学習の問題を解決するために必要な資料を選ぶ力や、資料と資料を関連付けて考える力に課題が見られる。</p> <p>(2) 資料から分かったことを基にして、よりよい社会にするために考えたことを表現する力に課題が見られる。</p>	<p>(1) 図やグラフ等をどう読み解くかを、全体指導で確認する場を設定して視点を明確にしてから、複線型授業を展開する。</p> <p>(2) 資料から情報を取り出し、整理しまとめる学習に加え、実生活や自身の考えに基づいて、より良い社会を目指すためを思案する学習活動を意図的・計画的に取り入れる。</p>

港区立小中一貫教育校白金の丘学園白金の丘小学校
令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫	
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○求められていることを理解した上で、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり、目的に応じて柔軟に表したりする力 ○データの特徴や傾向に着目して、表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決する力 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;"> 本校における 全国学力・学習状況調査 平均正答率 71% </td> </tr> </table> <p style="margin-top: 10px;"> (1) 選択式問題での正答率が80.9%に対し、記述式問題の正答率は49%であり、解答を成り立たせることに課題がある。 (2) 出題形式を問わず、思考力・判断力・表現力等を問われる問題に対する正答率に課題がある。 </p>	本校における 全国学力・学習状況調査 平均正答率 71%	<ul style="list-style-type: none"> ○解答について、考え方や導き方説明する機会を充実させる。課題解決に必要な知識・技能を確実に習得させるとともに、図や数直線などを活用して説明する対話型の考察を意識させて継続的に取り組む。 ○各領域の指導内容について、既習事項を基にした思考を十分に発揮できるよう、具体物や半具体物を活用したり、ヒントカード、九九表など習熟度に応じた支援をしたりしながら、児童一人一人が思考して解を導き出す指導を充実させる。
本校における 全国学力・学習状況調査 平均正答率 71%				

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫	
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○自然の事物・現象に対して自ら関わりながら問題を見いだす力。 ○問題解決の過程を理解し、予想や仮説を立て、検証に必要な方法を選択し、考察をとおして適切な結論を導き出す力 ○導き出した考えや新たに発見した疑問等に対して、科学的に追究しようとする力 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;"> 本校における 全国学力・学習状況調査 平均正答率 65% </td> </tr> </table> <p style="margin-top: 10px;"> (1) 粒子領域の平均正答率は、全国及び東京都の平均正答率を上回っているが、他の3領域に比べてポイントが高いことが課題である。 (2) 観察・実験に係る技能は身に付けているが、観察・実験の目的を十分に理解すること、結果を考察したり結論を導き出したりする科学的な思考力や表現力に課題がある。 (3) 理科と生活や社会とのかかわりに対する意識や関心に課題がある。 </p>	本校における 全国学力・学習状況調査 平均正答率 65%	<ul style="list-style-type: none"> (1) 様々な考え方や仮説に対し、科学的に論証することを意識した指導を実践し、自然の事物・現象について、実感を伴った理解に基づく知識を習得させる学習、授業づくりを行う。 (2) 学習内容につながる事象提示を工夫するとともに、児童の実態や思考に寄り添い、目的を明確にして観察・実験を適切に行い、結果を考察し結論を導出する。この流れを各单元で繰り返し指導することで、問題解決能力を高めていく。 (3) 学習したことが、現代の生活に多様に活用され、暮らしを支えていることを実感できるよう、事例を紹介したり調べ学習を促したりするなど、興味・関心を高める学習を実践する。
本校における 全国学力・学習状況調査 平均正答率 65%				

港区立小中一貫教育校白金の丘学園白金の丘小学校
令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
生活科	○見通しをもって学習する力	(1) 自分のことを振り返ることはできるが、自分と他者との違いに気付くことが難しい。	(！) 授業の振り返りの時間では、自己評価や児童相互の認め合いの時間も組み入れ、児童の思いや願いを実現できる授業づくりを行う。
	○学びを深める力	(2) 生活経験の差から、自己と他者の違いに気付いたり、新たな気付きに繋げたりすることが少ない。	(2) 活動の様子を細かく見取り、児童の気付きを価値づける。友達や地域との交流場面を意図的に設定し、気付きの量ではなく、質を高められるようにする。
	○学び合いの力		(3) 地域の人や他学年、自然等と直接関わる活動や体験を重視する。また、活動では、思考する→試す→工夫する、を繰り返し行う場と時間の確保をしていく。
	○自分の思いや願いを表現させようとする力		(4) 思いを表現する方法として、観察カードやＩＣＴを用いて、児童が自分に合った方法を選択・決定できるようにする。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	○歌唱、器楽演奏の表現力や技能	(1) 歌唱において、意欲的に取り組んではいるが、曲の雰囲気や歌詞の内容を感じ取り、それに合わせた強弱や演奏の仕方を工夫する点に課題がある。	(1) 各パートの練習を行い、二部合唱に向けてどのパートが主旋律か、どのように歌えば良いかなどを話し合う時間を作る。それぞれの役割を確認し、曲の理解を深め、演奏に生かしていくようにする。
	○音楽の構造や表現を聞き取り、自分の言葉で説明する力	(2) 鑑賞において、感じたことを言葉にできるが、旋律やリズムなどの要素と結び付けて考える力が弱い。	(2) 鑑賞の前に注目させたい音楽要素を明確に提示し、感じたことと音楽要素を分けて考えさせた上で、鑑賞後に話し合いの機会を設け、2つを結び付けていく。言語活動を通して音楽要素への理解を深めるとともに、語彙力の育成にもつなげるようにする。

港区立小中一貫教育校白金の丘学園白金の丘小学校
令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
工	<ul style="list-style-type: none"> ○手を動かし想像したことから、表したいことを考え、より良い作品作りにつなげる力 ○学習したことと日常生活や他教科の学習で活用する力 ○芸術活動や文化に興味関心をもち想像力を広げていく力 	<p>(1) 形や色などを基に、表したいことや表し方を考える力は概ねあるが、作品などに対する自分の見方や感じ方を深める力や、造形的な特徴を基に、創造的に発想や構想をする力が弱い。</p> <p>(2) 学習で身につけた知識や技能が日常生活や他教科に生かそうとする意識が低い児童が多い。</p>	<p>(1) 作品を鑑賞する時間を設け、他の人の作品から工夫等を見つけ、見方や感じ方を広げ自分の作品にも生かせるようにする。</p> <p>(2) 小題材と長期題材を組み合わせ、児童の多様な表現活動につなげる。</p> <p>(3) 道徳や国語等、教科と関連付けた題材にする。</p> <p>(4) 身近な素材を使った題材にする。</p>

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○学習したことを家庭生活に生かす力 ○生活を見つめ、家庭生活をよりよく工夫する力 	<p>(1) 児童によって生活経験の差が大きい。そのため日常生活の中で課題を見付けることに課題のある児童が多い。</p> <p>(2) 家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する意識が低い傾向がある。</p>	<p>(1) 実習や観察などの体験的な学習を意図的に組み入れることで、生活経験の差を縮め、自ら家庭生活に関わろうとする姿勢を育していく。</p> <p>(2) 調理や裁縫などの実習では、安全指導を徹底した上で、児童が試行錯誤しながら思考できる活動の場を保障し、知識技能を修得できるようにする。</p> <p>(3) I C Tを活用し、生活経験が少ない児童でも、視覚的に理解できるようにする。</p> <p>(4) 身近な生活の中にある課題を意識させることで、学習で得た知識技能を日常生活で活用しようという意欲が高まるようにする。</p>

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○各種の運動が有する特性や魅力に応じた知識や技能 ○自己の能力に適した課題をもち、活動を選んだり工夫したりする思考 	<p>※令和7年度体力テスト結果をもとにした課題</p> <p>(1) 全般的に 20mシャトルランの平均値が、男女ともに全国平均値を下回っている。 ⇒同じ動きを持続して行う力(持久力)に課題がある。</p>	<p>(1) 様々な動きのある運動遊びや補助運動を繰り返し取り入れたり、動画を使って動作の確認をしたりして、基本的な動きを身に付けさせる。また、楽しみながら取り組める活動を授業の中で継続的に設定し、筋力や持久力を高め</p>

港区立小中一貫教育校白金の丘学園白金の丘小学校
令和7年度 授業改善推進プラン

	力・判断力・表現力 ○運動の楽しさや喜びを味わい、明るく楽しい生活を営むための態度	(2)特に女子のボール投げの平均値が、全国平均値を下回っている学年が多い。 ⇒投力に課題がある。日常の投運動の経験の少なさも関連があると予想される。	られるようとする。 (2)投の運動につながる準備運動を行ったり、日常的に投の運動ができる環境をつくりたりする。 (筒投げ、ロケット飛ばし) (3)マラソン月間、マラソン大会を実施する。 ○講師による出前授業を実施する。 ○運動委員会による集会や大会を実施する。
--	---	---	---

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国際	【低学年】 ○自分の思いや考えを学習した表現を用いて表す力 ○積極的に相手に働きかけ、表現を用いて伝えたり聞いたりできるコミュニケーション力	【低学年】 (1)各単元で学習した新出の言葉や文型は身についているが、その組み合わせで話したり聞いたりすることが難しい時がある。 (2)ペア学習でのコミュニケーションはとれるが、グループや学級全体の前で積極的に発話することが恥ずかしいと思う児童がいる。	【低学年】 (1)年度初めより学習したことを取り返し復習し、複数の単元での学習をまとめた話型として話すなど、既習内容を応用できる場を作る。自分の考えや思いを伝える機会を意図的に増やす。 (2)個別学習や複数での学習において、英語での認め合いの言葉を使いながら、児童が積極的に話せるような場を設ける。NTと連携し、コミュニケーションがとりにくい状況となっている児童への個別の対応を多くし、何が出来ているかなどを意識できるような声かけを意図的に増やす。

港区立小中一貫教育校白金の丘学園白金の丘小学校
令和7年度 授業改善推進プラン

		おうとする意欲がある児童がいる一方で、コミュニケーションをとることに積極的になれない児童がいる。	児童にとって取り組みやすい雰囲気を作る。
--	--	--	----------------------

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
道徳	○道徳的価値を理解し、実践しようとする意欲・態度	(1) 道徳的価値について、自分事としてとらえることが難しいことがある。 (2) 学習したことを実生活に生かすことに課題がある。 (3) 自分以外の他者の存在や感情、立場を理解することが難しい。	(1) 児童の実生活に関連した具体的な問題を提起することで、自己の課題を捉えられるようにする。 (2) 道徳的な行動を価値付けることで、実践意欲を高める。 (3) 複数の登場人物の心情について考えたり、役割演技を行ったりすることで、様々な立場の思いを共感的に理解する。
	○物事を多角的・多面的に考える力		

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
特別活動	○違いを認め合い、共に生きていく力(人間関係形成力)	(1) 児童会活動やクラブ活動において、活動が重視され、目標が形骸化していることがある。 (2) 話し合いで、他の意見の良さを認めたり、建設的な話し合いをしたりすることに課題がある。	(1) 学級活動や係活動、児童会、クラブ活動において、事前に計画書を活用して見通しをもたせる。必要に応じて個別に声かけをしたり、活動報告の機会を設けたりして活性化を促す。
	○よりよい集団や社会をつくろうとする力(社会参画力)	(3) 学級活動において、その学級に応じた集団や個人の課題を見いだすことが難しく、計画的に話し合い活動が行うことできていない。	(2) 高学年では、児童会活動やクラブ活動を通して、学校のため、同じクラブの友達のためにという意識をもって話し合わせる運営を年間通して行うことで、他者意識をもちながら活動に取り組めるようする。
	○なりたい自分になろうと努力する力(自己実現力)	(4) 学級活動において、キャリアパスポート等を活用してなりたい自分について考え、今の自分を見つめ、一人一人が目標をもつことはできているが、その目標のためにそれぞれが考	(3) なりたい自分、目指したい自分について児童一人一人が考え活動できる時間を確保する。キャリアパスポートを活用し、定期的に自分自身を振り返るようにす

港区立小中一貫教育校白金の丘学園白金の丘小学校
令和7年度 授業改善推進プラン

		えて活動できていない。	る。
--	--	-------------	----

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	○地域と関わりながら課題を設定し、主体的・協働的に学習する力 ○よりよく問題を解決する力	(1)自ら関心をもって新しい課題を設定することが難しい。 (2)情報収集、整理・分析の際、インタビューやグラフ等の、各教科の学習で身に付けた知識・技能を活用することが難しい。 (3)学習内容を各教科での学びを生かす意識が低いことがある。	(1) 単元計画の作成時に探究課題を精査し、児童が興味をもった活動に試行錯誤しながら取り組めるよう、余裕のある時数を設定する。 (2) 各学年で身に付けさせたい表現方法の知識・技能を明確にし、まとめ・表現活動に組み込む。 (3) 教科横断的な課題を設定し、各教科での学びを生かす必要感をもたせる。